

# 運動部活動の地域移行を踏まえた JSPO加盟団体主催大会の在り方の検討状況アンケート 調査所見

令和5年10月11日  
公益財団法人日本スポーツ協会

## □ 中央競技団体が主催する大会への参加資格について

- ・ 「学校単位に限定している大会が有る」と回答のあった9団体において、全国中学校大会（以下、全中大会）を対象と捉えた回答がいくつか見られるため、全中を除き中央競技団体が主催する大会においては、現状でもその多くが学校単位に限定することなく開催されていることが伺える。
- ・ 全中以外で学校単位に限定した大会のあるNFに対しては、引き続き状況の確認や長官要請文の内容について改めて説明するなどの対応を図っていく必要がある。

## □ 様々な志向や技能等のレベルごとの大会開催に関する取組状況について

- ・ 既に開催している団体や、検討中または検討予定を除いた団体の回答から、傘下の組織(都道府県協会/連盟等)に開催を委ねており中央競技団体としては把握しきれていない状況や、そもそも競技人口が多くない競技については大会の開催自体が困難という状況が伺える。
- ・ 複数の運動種目を経験できる活動に参加している生徒の成果発表の場にふさわしい大会の開催については、競技団体としては競技横断の総合大会を主催者として開催することは難しいと予想されるため、都道府県体育/スポーツ協会等が各競技団体と連携して大会等の機会を創出していくことが求められる。

## □ 会場や開催時期等に関する取組状況について

## □ 天候不順等による大会日程変更に関する取組状況について

- ・ 回答から、夏季を可能な限り避けた開催時期の設定や、熱中症策、荒天時の対応等を既に実行している団体が多いことが伺えた。
- ・ 一方、中学生年代における大会は、スケジュール上、長期休暇期間に設定せざるを得ず、競技によっては夏季を避けられない実情や、全国大会は夏季を避けた日程で開催した場合、予選会は夏季に開催せざるを得ない実情も伺えた。

## □ 大会引率について

- ・ 中央競技団体主催大会において、外部指導者の引率規程有りとは回答した団体は半数以下で、回答の中でも多数が全中に関する内容や国際競技大会を指しているものと思われる。
- ・ なお、自由記述回答で全中を除き教員に限定した引率規程を設けている団体は見受けられなかった。
- ・ 引率規程無しとは回答した中央競技団体は、学校に限定した大会を開催していない団体のため、そもそも引率者について定める必要がないことが想定される。

## □ 参加チームおよび教員の大会運営への関わりについて

- ・結果から、参加チームが運営に関わっていることは、全国大会を主催する中央競技団体においては見受けられなかった。
- ・教員については、参加チームという立場ではなく、全国大会開催地の都道府県競技団体における競技委員・役員としての立場で運営に携わるケースは多く見受けられた。

## □ スポーツボランティアの活用について

- ・ 結果から、一定数、積極的にボランティアを活用している団体がある一方、活用状況には差があることが見受けられた。
- ・ ボランティアを活用していない団体の中には、スポーツボランティアに関する十分な知識がない、競技特性上、競技に関わる役員やスタッフは一程度ルールに精通していなければならない、ボランティアに任せることが出来ないなどの回答があった。
- ・ 以上からも、引き続きスポーツボランティアの認知向上や、活用事例などを紹介するなど、ボランティアの有効活用に向けた周知を図っていく必要がある。

## □ 都道府県体育・スポーツ協会へのアンケート結果について

- ・結果から、都道府県体育・スポーツ協会はあまり大会を主催しておらず、都道府県レベルにおいては都道府県競技団体等が大会運営を担っていることが伺えた。
- ・都道府県体育・スポーツ協会が実施する、各地域での様々な志向や技能等を持つ子供たちに対するイベントや体験機会の創出、指導者養成事業による指導者人材の更なる確保、自治体・少年団・総合型地域スポーツクラブ等との連携などの取組を、JSPOとしても引き続き支援していきたい。